

平成 30 年 7 月 9 日

共英製鋼株式会社 殿



鉄筋継手性能評価試験業務報告書

＜タフネジバーエポキシグラウト継手 LS タイプ 27 種類 [SD345 D19～D51 : 9 種類、SD390 D19～D51 : 9 種類、SD490 D19～D51 : 9 種類] ＞

貴社から依頼された表記の試験結果につき、下記のように「鉄筋定着・継手指針 [2007 年版]」に準拠した「継手単体の性能評価」のうち強度、剛性、伸び能力およびすべり量について性能評価を実施し、SA 級の性能を確認したので、ここにその概要を報告する。

記

I. 概 要

本試験は、依頼者より提供された継手材＜タフネジバーエポキシグラウト継手 LS タイプ 27 種類 [SD345 D19～D51 : 9 種類、SD390 D19～D51 : 9 種類、SD490 D19～D51 : 9 種類] ＞につき、機械式継手の性能を確認することを目的とし、「鉄筋定着・継手指針 [2007 年版]」（土木学会コンクリートライブラリー128 2007 年 8 月）に準拠した「継手単体の性能評価」のうち、強度、剛性、伸び能力およびすべり量について SA 級の性能判定基準に照らし合わせて試験を実施したものである。本報告書は、それら試験の結果をとりまとめたものである。

なお、本試験では、検長を剛性およびすべり量（検長 1）と伸び性能（検長 2）の 2 つに分けて試験を実施した。また「伸び能力」の評価は、指針 3.3.3 に規定する「 $\epsilon u \geq 20 \epsilon y$ かつ $\epsilon u \geq 0.04$ 」ではなく、「 $\epsilon u \geq 0.04$ 」のみで評価を行った。